

## 『プーチンと柔道』

延停戦についての協議に進展がみられることを期待していますが、ウクライナの現在の状況には本当に心が痛みます。荒唐無稽な弁明のもとに、非人道的な暴挙を重ねるプーチン大統領を誰が、いかにいさめることができるのでしょうか？



ご存じの方も多いと思いますが、プーチン氏は柔道家としても知られています。

先日まで国際柔道連盟(IJF)の名誉会長・アンバサダーも務めていましたが、名誉会長職。アンバサダーの両資格も停止されたようですが、当然のことでしょう。

実力の程はともかく、段位も講道館名誉六段、IJFからは名誉八段を贈られていました。

そのプーチン氏が「一番尊敬する日本人」として挙げるのが日本オリンピック委員会(JOC)のかつて無敵を誇った山下泰裕会長とのことです。

柔道の創始者である嘉納治五郎師範の教えによれば、柔道の理念は「精力善用」「自他共栄」であります。

「精力善用」とは自分が持つ心身の力を最大限に使って、社会に対して良い方向に用いること、「自他共栄」とは相手に対し、敬意、感謝をすることで信頼しあい、助けあう心を育み、自分だけでなく他人と共に栄えある世の中にしようとする事。今のプーチン氏はこの教えに真向から逆らうこと所業をエスカレートさせており、全く柔道の精神を理解しておらず柔道家と名乗ることは即刻辞めるべきであります。

いまやそのような状況ではないことも承知していますが、彼が最も尊敬する日本人とされている山下 JOC 会長には、なんとかこの稀代の暴君をいさめてもらうことはできないものかと思えます。